

るク  
えン  
な  
カリ

# パーキンソン病特化型デイ開設 独自リハで生活機能を改善

大阪市を中心に訪問看護ステーションを運営するかなえるリンク（大阪市、谷隆博代表取締役）は、パーキンソン病患者に特化したデイサービスを岸和田市に開設した。個別の服薬管理や疾患特有の症状を考慮したりハビプログラム生活機能の向上を目指したいという。

同社は大阪府や京都市でサテライト方式の訪問看護ステーションを7カ所運営している。スタッフの8割をPT・OT・STのリハビリ専門職が占める、いわゆる訪問リハに重点を置くステーションだ。

「パーキンソン病は振戦や無動、姿勢反射障害

など特有の症状があり、進行もする。そうした個別性に合わせた支援やリハを受けられるデイサービスがないことが、患者さんたちの悩みでした」（経営企画部事業支援課・宮本要介課長）

屋号は「PDRリハビリデイサービスかなえるLINK」。5〜7時間型

で定員は1日25人。開設

からほどなくして登録者数は35人に上り、営業日

はほぼ毎日十数人が利用しているという。森ノ宮

医療大学などと共同して疾患特有の振戦や無動、

姿勢反射障害などを考慮したりハビプログラム

も提供。その一つ「パーキンソングダンス」は生活

集団と個別で行うリハプログラムを提供



機能の改善に効果が期待できるという。

「訪問看護で培ったスキルや人材を生かして、

服薬管理など医療的ケアもきめ細かく対応できま

す。通ってリハビリがで

きる場が増えたことで新たな社会参加などの目標を持つことができた人も

います」（宮本さん）

センサー技術などを用いた新たな機能評価を導入したり、生活機能改善プログラムの実用性も検証していくという。